

東京都地方独立行政法人評価委員会 令和6年度第4回都立病院分科会 議事要旨

1 開催日時

令和7年3月19日（水曜日）から同月28日（金曜日）まで

2 開催場所

訪問又はWEB会議による持ち回り開催

3 出席委員 ※ 分科会長を除き五十音順

福井分科会長、井伊委員、大坪委員、児玉委員、坂本委員、本田委員、山口委員

4 報告事項

地方独立行政法人東京都立病院機構の令和7年度年度計画について

5 議事概要

【評価委員】

- ・ 地域の病院と連携することで、平均在院日数を短くして効率的に病床を使用することが重要である。
- ・ 医療機器の更新については、必要な抑制はすべきではあるが、性能の古い機器により患者に影響が出たり効率が悪くなったりするといったことがないようにしてほしい。
- ・ 今大きな投資をするわけではなく、着実に質を上げていくという方向性を示したことに関しては良いと思う。
- ・ 手術室の稼働状況について、有効に活用できているかどうかをぜひ検討してほしい。
- ・ 経営の改善に向けて、ガバナンスを強め、組織的に対応してほしい。
- ・ 急性期病院として、がんの手術件数をもっと増やしてほしい。
- ・ がん以外の手術の件数も見える化してほしい。関節置換など高齢者に必要な手術もあるので、そういった手術についても評価を行うべき。
- ・ ダヴィンチ手術については、経営的な観点からも、導入後の台数や手術件数などの実績をデータとして管理してほしい。
- ・ 不妊治療にも力を入れていただきたい。
- ・ 今後の超高齢化の中で、総合診療医を、都立病院だけでなく民間にも広げてほしい。
- ・ 災害対応力の強化については、都立病院で行った研修をモデルケースにして、災害対応のノウハウなどが区市町村など地域に広がっていくとよい。
- ・ 有事の際の災害対応において、具体的にどのように出動するのかを、これまでの事例

をもとに検討していくとよいと思う。

- ・ 患者・地域サポートセンターの取組については、職員の意識の醸成にも重要であると共に、アピールするべき取組だと思う。
- ・ 効率的な医療提供体制に向けて、患者情報など、地域とのネットワークの構築も頑張ってもらいたい。
- ・ Q I の公表については、わかりやすい内容で広く公表し、説明責任を果たすとよい。
- ・ Q I の数値を出す目的は改善にあり、他の病院と比較するだけではなく、改善されたかどうかを示すことが非常に重要である。
- ・ カスハラ対策もしっかりと行ってほしい。
- ・ 人材育成について、都立病院が先駆けて行うことでモデルケースになり、それが広がっていくとよいと思う。
- ・ しごと改革など、都立病院で研究・開発して成果のあった取組について、そのアイデアや経験を民間に広げてほしい。
- ・ 都民に対し、都立病院の必要性がよくわかるように指標等を工夫してほしい。

【事務局】

- ・ 令和7年度の都立病院分科会について、例年のスケジュールに加えて、第2期中期目標関係として秋頃にも開催したいと考えている。